平成 30 年 4 月 5 日発行　毎月 1 回 5 日発行　オイスカ通巻 655 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ

FURUSATO！4 月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

別れと出会いのメッセージコーナー

四国研修センターボランティア・長野進

昨年11月末からボランティアとして四国センターに来ました。本職は介護福祉士ですが、ご縁あって休職中の間、ボランテイアとして活動に加わりました。リッチーさんや研修生と毎日した有機農業では、その手間と管理に難しさを感じながらも、青空の下での作業に嬉しさと喜びを感じました。

また、帰国前の研修生、入国まもない研修生と過ごす時間はとても新鮮で楽しかったです。これからもお手伝いしていきます！！

オイスカ国際ボランティア・園田すみれ

最後の研修の地、四国センターで初めて体験したことはカラフルな野菜を見たこと、椎茸の菌打ち、新しい研修生のお迎え、蓮根掘り、味噌作りをしたことです。他にもたくさんありますが、書ききれません。日々の研修の中では話し合いの大切さ、研修の仕方、正しい包丁の構え方を学びました。これから西日本センターのスタッフになるので、皆さんが教えてくださったことを活かせるように頑張ります。2ヵ月間ありがとうございました！

エリズ

わたしはフランス人とイタリア人のハーフです。4か月前に日本へ来て、今は綾川町のカフェでシェフをしています。仕事をするには日本語が必要ですから、1ヵ月前からオイスカで日本語を勉強しています。て、毎日自転車でオイスカへ行って、日本語の他にも、みんなとお昼ご飯を食べたり、バレーボールをしたり、とても楽しいです。研修生と友達になれてとてもうれしいです。もっと日本語が上手になるようがんばります！

所長挨拶

四国研修センター新所長・小野　隆

三豊市役所を四年前に退職した後、三豊推進協議会へ入会しました。入会後は、オイスカ四国主催の「春のつどい」や「山・林・ＳＵＮ体験」等の行事に積極的に参加させていただいています。また、オイスカの重要施策である「子供の森」計画等の植林ツアーにも３回（韓国・沖縄 - 伊是名島・カンボジア）ほど参加しました。そのように、行事や活動に参加するうちにオイスカの理念に共感する仕事に就けたらいいなと思っていました。そんな矢先、オイスカ四国の石井会長からセンター所長の打診があり、お引き受けすることになりました。

センターは、外国の研修生を育てることが使命ですが、なかなか大変な仕事ですので、会員の皆様方に助けていただきながら、精一杯頑張りたいと思います。最後になりましたが、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

四国研修センター前所長・萬代　保男

4年前、不安と期待が入り混じる中、四国研修センターに着任したのが昨日のように思い出されます。気が付けば研修生らと寝食を共にしながら、がむしゃらに日々の業務をこなしていました。そして、4年目にして研修センター設立50周年という記念すべき年と巡り合わせ、38年前、オイスカに入り最初の勤務地が四国研修センターであったことを思えば感慨深いものがあります。今年も新たな研修生が期待と希望を胸に膨らませ入所してきました。財政的には厳しいセンターの運営状況ですが、新年度に向けては経験豊富な新所長の下、これまで以上に充実した研修が行われることと思います。引き続き、ご支援賜りますよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、今日まで大過なく所長という大役を務めることが出来たのも、着任以来、ご指導ご鞭撻を賜りましたオイスカ会員の皆様、また地域の皆様のお陰と改めて強く感じております。本紙面をお借りしまして心よりお礼を申し上げます。

四国研修センター50年の歴史 ～移転編～

香南町の冠纓神社境内敷地に、センターが昭和43年に開設し、研修生の受入れが始まって10年余が過ぎた頃から、研修生の増加やプレハブ建物の老朽化が進み、移転の話が持ち上がりました。さて、移転先をどこにするか？関係者は香川県内の東、西また徳島県境に近い所等々移転先を物色し、現在地（綾川町）に辿り着きました。ここに至るまでには不思議な縁を感じました。と言いますのは、昭和50年、オイスカ創立15周年記念式典が行なわれたホテルで、全国町村会の会議が同じ日にあり、出席していた綾川町長以下の方々が、民間のオイスカの底力を垣間見ていたことでした。こんな経緯があり、移転先探しから2年を要しましたが、昭和56年に今の本格的な鉄筋2階建ての本館が完成しました。これには地元香川県始め四国4県からの助成金、香川県5市長会、香川県町村長会、企業・会員の方々など多くの皆様方（日本財団：当時の日本船舶振興会の協力も）の協力がありました。また当時だからできた事ですが、センター周囲の石垣の設置などに、研修生やスタッフが一緒に汗を流したことも良い思い出です。それから40年近く、地域の方に温かく見守られながら、この学び舎で研修を行う日々に只々感謝しております。（早川）

完成当時の現センター

まるがめお城まつり出店

5月3・4日、今年も丸亀城前で行われるお城祭りに出店します。オイスカ特製の**エスニックカレー**！他にもオイスカの有精卵の卵と自家栽培のさぬきの夢を使用したシフォンケーキも。ぜひご来店ください！！

4 月のイベント予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
1 日	日	2018 全国うちわピンポン国際大会	かがわ子育て親育ちの会	丸亀市民体育館
7･8 日	土・日	オイスカ四国研修センター50 周年大同窓会	四国研修センター	四国研修センター他
5 日	木	支部常任幹事会	四国支部	四国支部
21 日	土	基礎研修修了式	四国研修センター	四国研修センター
22 日	日	おかだ祭り参加 スイーツ&パンマルシェ in 河内小学校出店	岡田コミュニティ ㈱河内小学校	岡田コミュニティセンター 三豊市山本町
23 日	月	四国支部春のつどい（幹事会・講演会・懇親会）	四国支部	オークラホテル丸亀
3･4 日	木・金	（丸亀お城まつり）まるがめ城下町こだわり大物産展出店	中讃推進協議会・四国センター	丸亀城前うどん広場

「FURUSATO！」4 月号　発行
公益財団法人オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト
OISCA × VALLE BOOKS

☆☆四国センター入所式＆修了式☆☆

平成30年オイスカ四国研修センター　入所式
～新しい四国研修センターのスタート～

3月3日(土)、四国研修センターで新研修生の入所式と歓迎会を行いました。毎年入所式は研修生の入国が間際にならないとわからないため、案内が直前になってしまいましたが、香川県淀谷知事公室長を始め、50名の参加がありました。過去の研修生から1年間で研修生がどのように成長するのか期待の表れでしょうか。研修生の代表挨拶では、マレーシアのミラが来日した直後とは思えない程の流暢な日本語でスピーチを行いました。現地で事前訓練の中で日本語を学んだようですが、これから行う研修で重要になってくる言語力に現地の送り出し機関の指導レベルの高さが窺えました。

参加者の皆さんも日本語や英語を使って研修生との交流を楽しんでいました。

また今年も研修生共々センターを盛り上げて参ります。どうぞよろしくお願い致します。（矢野）

日本語でスピーチ、しっかりしすぎ？

この初心の気持ちを忘れずに研修に臨みます！

今年の研修生は日本語が少し話せる人も。
これがどのくらい成長するでしょうか…

技能実習生修了式
～沖縄、香川で学んだことを生かす～

3月20日（火）、(有)さぬき新栄で技能実習を行っていたインドネシアのエピン、ナジルが3年間の実習を終え、修了式が執り行われ、帰国しました。彼らは初め沖縄で実習を行っていましたが、事業所との兼ね合いで香川に来て実習を行うことになりました。不安もある中、自分達で考えて積極的に行動する姿勢が事業所から良い評価を受け、次回もインドネシア実習生を受け入れて頂く運びとなりました。

帰国後も学んだ知識で農業を始めたいという意思を持ち、訪日中にも色々準備を進めていました。経営などまだまだ勉強しなければならないことも含め、良いリーダーシップを自国で発揮してもらえればと思います。（矢野）

いろいろな方たちの支えで3年間を全うすることができました。

センターを飛び出して！！

国際交流　親子料理講座

2月24日にサンポート四電プラザでマレーシアのお菓子作り講座を行いました。親子で国際交流しながら料理するというテーマでした。参加者は9組で半分は外国人の親子でしたが、日本語がとても上手でした。講座では、クイリダとクイラピスという、2つのお菓子を作りました。クイリダは揚げパイのようなお菓子です。クイラピスはココナッツミルクが入ったお菓子で、日本だと「ういろう」に近いです。マレーシアでは、ココナッツの木がどこの家の周りにも沢山あるので、お菓子作りにも料理作りにもよく使います。今まで何回か交流でマレーシアのお菓子作りをしましたが、親子で教えるのは初めてだし小さい子と一緒にお菓子を作る経験もありませんでしたから少し緊張しました。でも作り方の説明をした時に、皆熱心に聞いてくれ、最後に「美味しい～～」という声を聞いた時は本当に嬉しかったです。（ガディ）

綾川町民綱引き大会

2月25日、綱引き大会がありました。前の日にみんなで練習をしました。綱引きはベトナムでもありますが、綱を引くときの立ち方が違います。ひざを少しまげて、背中をのばす日本の立ち方は難しかったけど、練習して少し慣れました。25日はお年寄り、若い人、男の人、女の人がたくさんいて驚きました。応援も一生懸命しました。オイスカの声が一番大きかったと思います。女性チームはBブロックで2番になりました。わたしたちは日本に来たばかりでみんないつも緊張していました。でも綱引きをして、みんなと協力して仲良くなることができました。（トゥ・ベトナム）

高知・山下農園見学

3月14日、農業指導のソレと一緒に高知県にある山下農園へ、野菜の作り方を勉強に行きました。はじめに山下農園の社長からハウスで種の蒔き方を教えてもらいました。ポットの土の準備、温度、定植するときの苗の大きさ、とても丁寧でセンターの方法とは違うやり方を知ることができました。山下農園の場所は標高が300mくらいの所で気象条件もいいですが、それだけでなく野菜をきれいに作る工夫をたくさんしていました。他にも微生物や燻炭を使った自然農法を見せてもらいました。新しいやり方を教えてもらったので、センターでもやってみたいと思います。（リッチー）

チャリティーゴルフ

3月22日、四国支部主催で坂出推進協議会主管による恒例の「オイスカチャリティーゴルフコンペ」が高松カントリークラブで開催されました。同コンペは毎年桜の季節を迎えるこの時期に開催されており、今年も125名の参加者が集い、内約半数をオイスカ会員が占めました。結果発表のセレモニー時には、新たに入所した研修生紹介の場を設けていただきましたが、たどたどしい日本語ながらも大きな声でしっかりと自己紹介をしていました。表彰による景品には研修センターの生産品も含まれており、研修生はその後の景品渡しの手伝いを通して、参加者と身近に触れ合う機会に恵まれました。（萬代）